

「みえの学力向上県民運動」今後の方向性について(案)

1 今後の方向性について

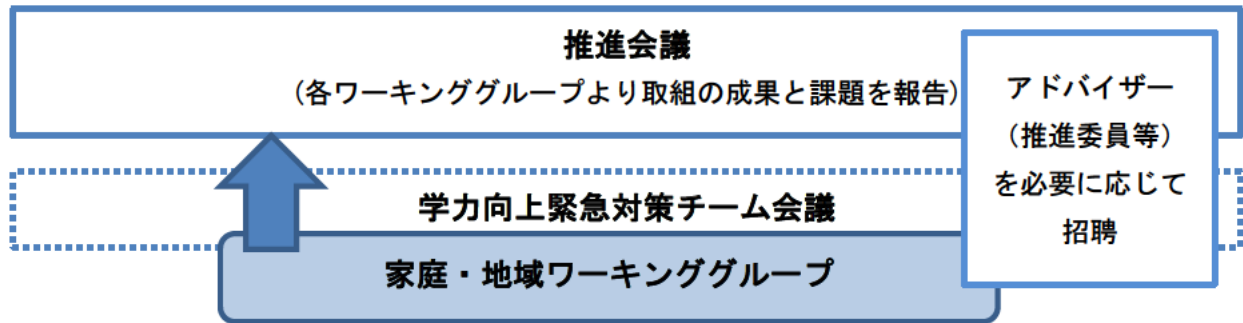
みえの学力向上県民運動～大人が変われば、子どもが変わる！～（平成28年度～平成31年度）

- ・「みえの学力向上県民運動」の趣旨を引き継ぎ、具体的・実践的な取組の充実を図ります。
- ・県民カビジョン、教育施策大綱、教育ビジョンを踏まえ、「授業力の向上」、「家庭教育等の充実（生活習慣・読書習慣の確立）」、「地域とともにある学校づくり」、「家庭での学習が困難である子どもたちに対する支援」に取り組みます。

→平均正答率、無解答率、自尊感情を含む質問紙調査項目等を総合的に活用し、取組をフォローアップします。

- 家庭・地域ワーキンググループを設置し、具体的実践の充実を図ります。
- PTA、校長会等と一層の連携を図るとともに、子育て世代の多い民間団体、図書館関係団体等との連携を図り、家庭等への理解・協力の促進を図ります。

2 運営組織について



3 ワーキンググループについて（イメージ）

- 市町等教育委員会と連携し、具体的実践の充実を図ります。
- 推進委員を必要に応じてアドバイザーとして招聘します。

